

## トヨタ、アバロンを新発売

トヨタ自動車(株)は、新型高級乗用車アバロン(\*1)を米国から輸入し5月9日より、全国のトヨペット店(東京地区は東京トヨタおよび東京トヨペット、大阪地区は大阪トヨタ)を通じて一斉に発売した。

米国のトヨタ・ディビジョンのフラッグシップカーとして誕生したアバロンは、広大な大陸をゆったりと走ることをイメージし、あらゆる面での「ゆとり」を具現化した、重厚さや豪華さとは異なる、新しい高級感を求める日本のお客様にもフィットする「FF最高級セダン」である。

そして日本での発売にあたっては、右ハンドル仕様としたほか、その「ゆとり」のさらなる洗練を念頭に、世界初のオプティトロンスペースビジョンメーターや電動チルト&テレスコピックステアリング等装備の充実を行っている。

またアバロンは、その開発をトヨタと米国のTTC(\*2)が一体となり行うとともに、生産をTMM(\*3)が担当した、企業活動の国際的な協調により完成した新型車である。

車両の特長は以下の通りである。

1. ビッグキャビンと上質なインテリアがもたらす「くつろぎの快適空間」
2. 気品と風格を感じさせる「洗練されたエクステリアデザイン」
3. 新開発V6・3ℓアルミエンジン搭載等による「力強く滑らかな走行性能」
4. ABS、TRC、運転席エアバッグ全車標準装備による「優れた安全性能」と「環境への配慮」

\*1 アバロン(AVALON) : ケルト伝説「アーサー王物語」に登場する楽園の島の意

\*2 TTC : Toyota Technical Center, U.S.A., Inc.

\*3 TMM : Toyota Motor Manufacturing, U.S.A., Inc.



アバロン 3.0 [E-MCX10-AEPGK]

## 【車両概要】

### 1. ビッグキャビンと上質なインテリアがもたらす「くつろぎの快適空間」

セダンボデーとFF方式の利点を最大限に活かして、3ℓセダンクラストップレベルの居住空間とするとともに、高級車にふさわしい優れた静粛性を実現している。

- (1) レッグスペース、ヘッドクリアランスを十分に確保することで、前・後席両方にたとえ190cmの大柄な体型の人が乗車してもゆとりを感じられる居住空間を創出。  
(室内長2,050mm、室内幅1,530mm、室内高1,195mm)
- (2) 室内色は、明るく高級感のあるベージュ系の新色アッドピを採用するほか、インストルメントパネルからドアトリムに向かう造形を低くすることで、ワイド感、開放感を強調。
- (3) 豊かな量感とおおらかさを表現したシートは、優れたフィット感を提供し、また、シート表皮には、高品質ジャカードモケットを標準装備するほか、すべりにくくソフトな味わいの本革を「3.0G」にオプション設定することで、長距離走行時でも乗員に優れた座り心地を提供。
- (4) 日本向け専用仕様として、電動チルト&テレスコピックステアリングや、前方視界からメーターへの視線移動時に焦点を合わせやすくする、世界初のオプティトロンスペースビジョンメーターを全車に標準装備。
- (5) トランクルームは、528ℓ(VDA法)の大容量とし、長期旅行用大型スーツケースが4個収納できるとともに、開口部の見切りを低くすることで、優れた使用性を確保。
- (6) 各コンポーネントの振動・騒音を低減するとともに、その伝達を断つという観点から各部の遮音・制振構造を工夫し、アイドリングから高速走行にいたるまで優れた静粛性を実現。

### 2. 気品と風格を感じさせる「洗練されたエクステリアデザイン」

全長4,845mm、全幅1,785mm、全高1,435mmのロング&ワイドボデーサイズに、6ライトの堂々としたシルエットを創出するとともに、キャビンとボデーを滑らかな面構成で一体化することで、高級感、車格感を演出している。

- (1) フロントでは、大型ヘッドランプと重厚感のあるグリルを配し存在感を強調。
- (2) リヤでは、左右独立タイプのコンビネーションランプとワイドな外板面により、洗練されたフォルムを演出。

### 3. 新開発V6・3ℓアルミエンジン搭載等による「力強く滑らかな走行性能」

発進から高速走行にいたるまで、あくまでスムーズでゆとりのある高性能、低燃費の新開発アルミエンジンを搭載。

#### (1)新開発V6・3ℓアルミエンジン〔1MZF型〕

- ① アルミ製シリンダーブロックの採用のほか、ボアピッチ縮小による全長の短縮や、バルブ挟角縮小によるシリンダーヘッドのコンパクト化により、当社の既存V6エンジン（3VZF型）比約30kgの軽量化を実現。
- ② 燃焼室形状の最適化や10.5の高圧縮比等による燃焼改善と、摺動部分の加工精度向上等によるフリクションロスの低減ならびに点火時期の精密制御により、3ℓクラストップレベルの低燃費9.5km/ℓ（10・15モード）を達成。
- ③ たて型細径インテークポートや可変吸気システムの採用により、低・中速域で高トルクを発生させ、発進・追越し時でも余裕のある走行性能を実現。

#### (2)オートマチックトランスミッション〔ECT-i〕

- ① 「インテリジェント総合制御システム」の採用により、変速時のエンジントルクと変速クラッチ油圧をきめ細かく電子制御することで、滑らかな変速感を実現。
- ② “スーパーフロー” トルクコンバーターの伝達効率を高めることで、燃費と発進加速性能の向上を実現。

#### 〔エンジン主要諸元〕

総排気量(cc)	2,994	圧縮比	10.5
シリンダー数	V型6気筒	最高出力(PS/r.p.m.)	200/5,400
動弁機構	DOHC24バルブ	最大トルク(kg・m/r.p.m.)	29.0/4,400
ボア×ストローク(mm)	87.5×83.0	10・15モード燃費(km/ℓ)	9.5

#### (3)サスペンション

- ① 足廻りは、4輪独立懸架方式とし、フロントサスペンションにはマクファーソンストラット式を、リヤサスペンションにはデュアルリンクストラット式を採用し、新エンジンの性能を十分に引き出し、しなやかな乗り心地と優れた操縦性・走行安定性を実現。
- ② また、フロント・リヤともに防振サブフレームを採用し、ボデーに伝わる振動・騒音を極めて低いレベルに抑え、高級車にふさわしい優れた静粛性を確保。

#### 4. ABS、TRC、運転席エアバッグ全車標準装備による「優れた安全性能」と「環境への配慮」

##### (1) 予防安全

- ① 4輪ABS、TRCの全車標準装備により、優れた走行性能、緊急回避性能を実現。
- ② オプティトロンスペースビジョンメーターの採用に代表される優れた視認性の確保。
- ③ レインガターや溝付リヤウインドウモールの採用による雨天時の視界確保。

##### (2) 衝突安全

- ① 運転席SRSエアバッグの全車標準装備および助手席SRSエアバッグの「3.0G」への標準装備。
- ② リヤ中央席へのELR付3点式シートベルトの採用。
- ③ 米国新側面衝突基準レベルの乗員保護性能を確保した衝撃吸収ボデー構造(CIAS)の採用。

##### (3) 環境への配慮

- ① 省エネルギーへの取組みとして、軽量で高効率な新開発エンジンの搭載に加え、車両全体で軽量設計を実施することで、3ℓクラストップレベルの低燃費を達成。
  - ② 省資源への取組みとしてリサイクルしやすい熱可塑性樹脂トヨタスーパーオレフィンポリマーを、前後バンパーに採用。
- 他にも、①工程内で発生する樹脂端材のリサイクル化、⑩樹脂材質識別に役立つマーキングの実施、⑪特定フロンの未使用、⑫全部品のノンアスベスト化を全トヨタ車に展開済。

#### 【販売概要】

1. 販売店 全国のトヨペット店  
 { 東京地区は東京トヨタおよび東京トヨペットで販売 }  
 { 大阪地区は大阪トヨタで販売 }
2. 年間目標台数 15,000台
3. 店頭発表会 5月20日(土)、21日(日)

#### 【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

グレード	エンジン	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
3.0	1MZ-FE	ECT-i	2,880	2,875	2,880
3.0G			3,180	3,175	3,180

ECT-i：電子制御式2ウェイOD付4速オートマチック(インテリジェント) ◎掲載写真

以上